

臨時休業 来月末まで延長

群馬県では、新型コロナウイルス感染症が全国的に拡大していることを受け、県立高等学校等の臨時休業を5月31日まで延長することになりました。5月7日の再開を目指していたわけですが、全都道府県に緊急事態宣言が発令される中、本県や近隣県でも感染者の増加が続いている状況を踏まえた措置です。生徒の健康・安全を第一に考え、新型コロナウイルスへの感染を防止するためのものですので、引き続き、御理解・御協力をお願いいたします。

ノーベル賞受賞者である京都大学の山中伸弥教授は、自身のホームページで「新型コロナウイルスへの対策は長いマラソンです。都市部で市中感染が広がり、しばらくは全力疾走に近い努力が必要です。また、その後の持久走への準備も大切です。感染が拡大していない地域も、先手の対策が重要です。」と述べています。私たちは今後もしばらくの間、行動の自粛や一人一人ができる感染症防止対策に取り組んでいかなければなりません。

新しい情報を得る習慣を

高校の休校や部活動の大会の中止が相次いでいることを受けて、萩生田文部科学大臣は、来春の入学者を対象とした大学の「総合型選抜(旧AO入試)」と「学校推薦型選抜(旧推薦入試)」について、出願時期や評価などを配慮するよう求めていく考えを示しました。正式に発表されたものではありませんが、具体的に求める配慮事項としては、競技大会や文化活動などが中止や延期になって参加できなかったこと、出席日数や特別活動の記録が少ないことをもって高校の部活動などの実績評価や調査書で特定の受験生が不利益を被ることがないようにすることなどになるようです。

例年ですと、総合型選抜は9月以降に、学校推薦型選抜は11月以降に出願が始まりますが

休校や部活動の各種大会の中止が相次ぎ、面接や書類などで評価してもらう取組ができていません。また、就職活動にも影響が出る可能性があります。

3年生にとって極めて重要な進路に関するスケジュールが、これまでと変わることが予想されますので、対応できるよう早め早めに準備していきましょう。そして、大学やハローワークなどからの情報を注視していくとともに、進路希望先のホームページなどをこまめに確認し、新しい情報を得る習慣を身に付けておいてください。

大型連休中も外出を控え、規則正しい生活

来月からのカレンダーをみて、一学期の残り「5、6、7月」を思わず「コロナ」と読んでしまいました。意識の中で多くの部分を新型コロナウイルスに関するものが占めています。

通常であれば、部活動が盛んに行われる時期でもありますが、今年は活動が自粛され、大会も中止となっています。家でできる運動などを取り入れながら、体調管理に気をつけてください。

感染症予防で大切なことは、まず手洗いです。「洗手(せんしゅ)防衛」です。こまめに手を洗いましょう。また、規則正しい生活、食事も重要です。生徒諸君が食事を自分で用意する場合、「P・C・R(パスタ・カレー・ラーメン…)」になりがちではありませんか？PCRで味や香りを楽しんでもらいながら、そうしたメニューの場合でも、ぜひとも一日全体を通しての栄養バランスも考えてください。家庭科の知識を動員して、ホームプロジェクトを意識してみるのもいいでしょう。学んだ知識を家庭の中に活かしてみましよう。

大型連休中も外出を控え、規則正しい生活、計画的な学習をお願いします。